

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和元年度）

（事業所名）DSL. ジャパン(株) 赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1－1 環境保全活動に関する方針

赤穂工場方針

『湿式シリカの合成技術を通じて、多様化するお客様のニーズを創造し、高付加価値の製品とサービスを提供いたします。お客様と社員に安全と安心をお届けするとともに、汚染を予防し環境保護に努め、コンプライアンスを重視して社会貢献を積極的に進めます。』

行動指針

1. 継続的改善

環境・安全衛生、品質、食品衛生ならびにハラルに関して、目的・目標・プログラムを設定し、パフォーマンスの継続的な改善に努めます。

2. 管理体制の整備

構築したマネジメントシステムの責任と権限を明確にし、欠陥等が生じることの無いよう継続的に内部監査を実施し改善・改良に努めます。

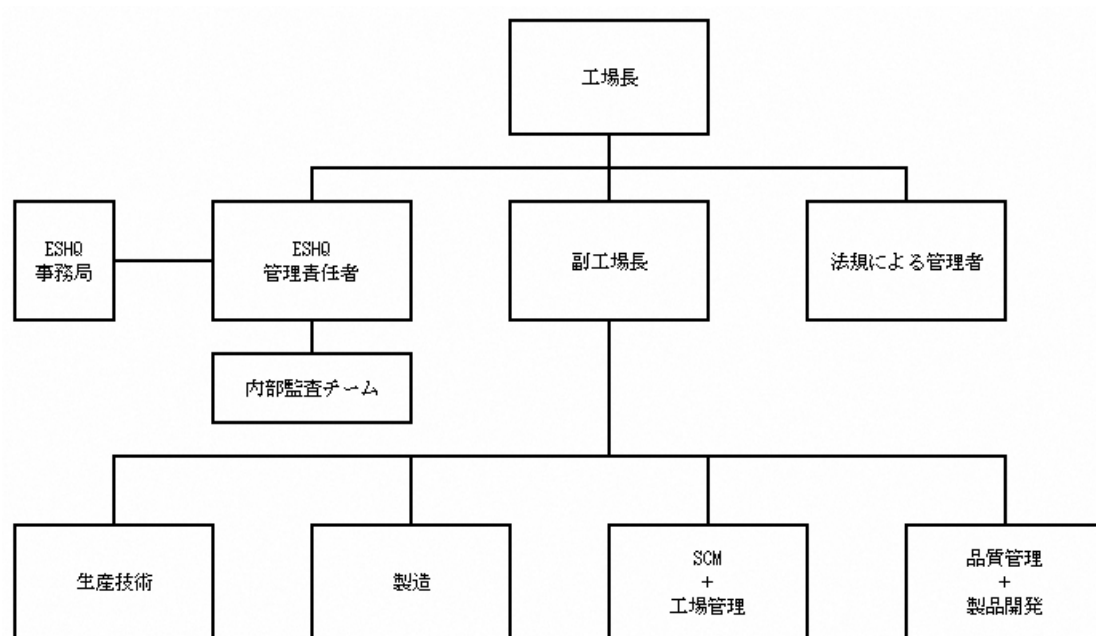
3. 法・規制の遵守

お客様からのニーズ、自社で定めた基準、地方自治体法規制の要求事項を把握し、それらに適合した事業活動を実施します。

4. 教育およびコミュニケーション

環境、安全衛生、品質、食品衛生およびハラルについての教育・訓練を重視するとともに、事業活動を通じ関係諸官庁・地域住民とのコミュニケーションを図り、求めに応じて必要な情報の開示をする。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
E S H Q 委員会 (2回/年)	環境教育(E)および啓発活動を行い、全従業員の環境意識と環境保全活動推進意識向上を図った。環境関係の法律、条例、自社で定めた基準、業界及び社会が要求する環境規制を遵守した。	継続
廃棄物削減 (製品 t 当たり 廃棄物発生量 k g)	2019年目標 : 36.7kg/t 2019年実績 : 37kg/t	2020年目標 : 36kg/t
省エネ推進 (製品 t 当たり CO ₂ 排出量 t)	2019年目標 : 1.39t/t 2019年実績 : 1.41t/t	2020年目標 : 1.37t/t
省エネ推進 (製品 t 当たり 水使用量m ³)	2019年目標 : 47m ³ /t 2019年実績 : 50m ³ /t	2020年目標 : 47m ³ /t
避難訓練 緊急通報訓練 防災訓練	9月 火災、漏えい等の異常事態発生を想定した社内外への緊急通報並びに災害対策本部による防災訓練を実施した。	9月 火災、漏洩を想定した総合防災訓練を計画
工場内巡視	環境保全維持活動として、事業所内施設・産業廃棄物置場等の重点的にパトロールを行い、不要物が放置されていないかを確認した。	継続
クリーン兵庫運動 赤穂市ゴミゼロの日	赤穂市内の清掃活動ならびに工場と赤穂港間(県の管理地)の清掃美化活動を実施した	継続